



夏期休業前全校集会

7月19日（金）

校長講話要旨

○4月の始業式で話した文武不岐について各自実践できていますか。本校の文武不岐の原点は「文」です。授業を大切にして課外や補習にも出席できていますか。また、沢山の学習課題に対応できていますか。家庭学習時間が確保されていますか。結果はすぐには見えなくとも学びを積み重ねていくことで実力を磨いて下さい。簡単ではないけれど、簡単でないからこそ収穫があります。

○学校行事については、定期戦（10連勝）・為桜祭・野球応援など盛りだくさんでした。皆さんの躍動する姿が随所に見られました。（講話に先立つ）表彰式で披露されたように特別活動においても、全国・関東・県大会などでめざましい活躍がありました。

○選挙権がある人は権利を行使しましょう。必ず投票所に行きましょう。

○夏季休業中の注意

- 1 自身の行動に自覚と責任を持とう。自律と自分勝手は違います。保護者の方とも十分なコミュニケーションをとしましょう。
- 2 自分の成長に繋がる夏の取組として読書をしてください。印刷された文字を追ってじっくり考える時間を持つことに意義があります。

紹介：齋藤孝「読書をする人だけがたどりつける場所」

○野球応援について

署名活動で全生徒の約7割の生徒から4回戦以降の全校応援を求める声がありました。愛校心に燃えた短期間での行動力は賞賛に値します。応援のエールにもあるように「やっぱり下高ナンバーワン！」です。たいへん嬉しく思います。

ただし、皆さんへの答えは、応援形態は、従来通り、休業前は学年応援とします。本校の校是は「文武不岐」です。授業を疎かにしない姿勢は変わりません。そもそも野球応援は本校にとっても特別な学校行事であり、既に別格の対応をしています。甲子園を目指す以上、全校応援は準決勝・決勝で行うこととします。応援団・チアリーダー・吹奏楽部と応援担当の学年の生徒が「為桜魂」で勝利を呼び込みましょう。「為桜魂」とは「たくましさ・したたかさ」を持った強い気持ちであると思います。気迫で負けない応援をしましょう。

